

山形の母なる川

最上川

山形県倫理法人会
広報もがみがわ
平成30年5月31日発行
www.yamagata-rinri.net

vol. 53

広報最上川 vol. 53

会員大募集

6月20日までに1110社入会達成が目標です。
庄内地域の経営者の方に
是非お声をかけをよろしくお願いいたします。

「ハイ！」の一言の実践から始まった訳で、チャンスを感じております。毎日の普及拡大には県内全域から応援頂いており、皆様には心より感謝申し上げます。正会員として設立し地域の発展と人々の幸せを願う「地球倫理の推進」と「日本創生の魁」となります。皆様の「支援」協力を宜しくお願い申し上げます。

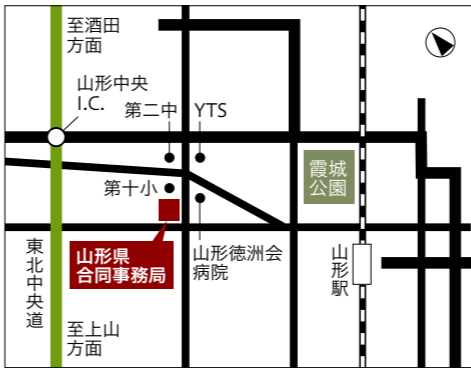


「酒田市みずほ倫理法人会」 西郷どん所縁の南洲神社をMS会場に 7月20日設立へ！

会長予定者 佐藤清和氏(現 山形県モーニングセミナー委員長)



庄内で4番目、山形県で16番目の倫理法人会として平成30年7月20日に誕生致します酒田市みずほ倫理法人会会長予定者佐藤清和です。安藤政則県会長の庄内地域の会員企業普及率を上げ、役職者の数を増やし、地域社会の発展に寄与するという熱い想いを、私は面白い！とは思いますが、まさか自分が会長予定者の指名を頂くとは想定外でした。しかし一度心を決めてしまおうと色々な倫理体験が待っていました。会場の事、名前の事、役職の事、普及拡大の事等全て産みの苦しみと楽しさ不思議さを体験しております。これも、「ハイ！」の一言の実践



編集後記

山形県倫理法人会
広報委員長
五十嵐久仁子

5月12日の事。山形県倫理経営塾の開講式でお会いした、地域発展の為に本気で倫理経営を目指し入塾した若い経営者達。大石田の旧次年子小学校で行われた女性委員会企画でお会いした、山形の自然に魅了されて移住してきた「食」と「陶芸」のアーティスト達。「先の不安で憂鬱になっている時間は勿体ない。今できる事を今やろう」という明朗なエネルギーに触れ素晴らしい日を過ごしました。倫理法人会で主催する企画は気づきや学びが沢山あります。是非皆様も気軽にご参加しませんか？

ブロック活性スタンプラリー【夏編】 「レッツ朝活 チャレンジ15」

冬に行ったスタンプラリーでは、大雪にも負けず48名が達成できました。これから夏に向けて早起きが楽しい季節。是非多くの皆様のチャレンジをお待ちしております。

6月から
始まります！



山形県倫理経営塾 第1期開講 株主会社ハイテックシステム

倫理経営企業訪問・えがおのげんば

【発行】山形県倫理法人会
【発行人】安藤政則 【編集人】五十嵐久仁子

【表紙題字】中村俊光氏



一般社団法人 倫理研究所
山形県倫理法人会

p.6-9

発行 山形県倫理法人会
〒990-0835 山形市やよい二丁目1-47
TEL.023-647-5582
FAX.023-646-7660
www.yamagata-rinri.net
発行日 平成30年5月31日



山形に新たな歴史を刻む 山形県倫理経営塾 第1期開講!

平成30年5月12日(土) 村山市のクアハウス基点にて「山形県倫理経営塾」開講式が執り行われました。宮城県倫理経営塾を卒業した山形県会員達が「何とか山形にも作りたい」と準備を重ねて満を持しての開塾とあり、会場は期待に満ち溢れた凛とした空気を醸し出していました。相田晃輔副塾頭による開式の言葉、小島一晃運営委員による憲章とセブンアクトの唱和の後、安藤政則会長より「人生においても経営においても成功の要諦はただひとつ。信じたことをやり続けてみることに。自分で限界を作らず、真の自分を見つける為に全力を出して欲しい。この塾の学びを基に人生を作りあげ、そしていつか地域貢献に繋がって欲しい」と、激励の挨拶がありました。

五十嵐慶三塾頭による講話は、自身が平成14年に宮城の倫理経営塾を一期生で卒業してから16年かかってやっと山形で恩返しできた、つまり一期生は卒業してからがスタートであり後進への手引きとなる、というお話から始まりました。そしてこの基点で5月の本日、開塾した所以を以下のように語られました。

山形県の母なる川「最上川」は吾妻連峰の西吾妻山を源流に、他県に跨る事なく山形一県を流れる唯一の川。県民の約8割がその流域で暮らし、人々の生命と営みに潤いを与え続けています。古代中世ころから部分的に舟運が始まりましたが、この基点は岩礁が露出した難所で流通は分断。見兼ねた山形城主の最上義光が大開削を行ったのをきっかけに、その後上流から酒田までの舟路が整い全国経済と連結する大動脈として発展する事ができたのです。最上川は「母なる川」がゆえに、産みの苦しみを抱えていたわけでありました。「宮城県倫理経営塾」を父と仰ぎ、「山形県倫理経営塾」が母の日直前の本日、無事誕生いたしました。記念すべき第一期生6名の船出を、皆様、応援よろしくお願い申し上げます。

■山形県倫理経営塾 活動スローガン
さあ始めよう「倫理経営」!
心配するな、打つ手は無限、
「やれば出来る!」



- 平成30年度 運営委員
- 会長 安藤政則
 - 塾頭 五十嵐慶三
 - 副塾頭 佐藤靖之
 - 副塾頭 相田晃輔
 - 事務局長 高橋進一
 - 運営委員 小島一晃
 - 運営委員 我妻敬太
 - 運営委員 小松茂洋
 - 運営委員 水沢正志
 - 運営委員 栗本正幸
 - 顧問(倫理経営インストラクター) 中村恒一
 - 顧問(倫理経営インストラクター) 小島長五郎
 - 顧問(倫理経営インストラクター) 鈴木隆一



先駆けとなる気概を持った第1期生の6名

- 平成30年度スケジュール
- キックオフ 5月12日(土)
 - 第1講 5月19日(土)、20日(日)
 - 第2講 6月16日(土)、17日(日)
 - 第3講 7月21日(土)、22日(日)
 - 第4講 経営理念発表会・卒業式 8月4日(土)

※講話は全講義公開制となっておりますので、事前申し込みによる参加を受け付けております。

感動多き 富士研へ

27名参加!

平成30年度
経営者倫理セミナー報告

富士研とは、倫理研究所富士研修センターで行われる、経営者倫理セミナーの略称です。今年は山形県より総勢27名が参加しました。晴天に恵まれ、真っ白な富士山がぐらぐらに迎えてくれました。



富士研の学び

研修委員長 富樫幸吉

山形県研修委員会の大事業である富士高原研修所、経営者倫理セミナーに二十七名の皆様からご出席頂き山形県を強くアピールすることが出来ましたこと、ありがたく感謝申し上げます。安藤県会長を筆頭に各単体会長、幹事さんからの申込みと、会員の方へのお誘い、声かけのご協力の賜物と感謝申し上げます。



日頃はモーニングセミナーで十七ヶ条の倫理を学んでいる訳ですが、富士研での経営者倫理セミナーの素晴らしさについて体験報告させていただきます。

まず一つ目に大型バスをチャーターし、約十一時間をかけての大移動、バスに乗り込んで初めての出会いもあり、道中はセミナーと違ったゆつたりとした時間の中で交流がはかられ、前泊ホテルに到着後はお楽しみ懇親会、アルコールも入りとても賑やかに、そして明日に備える準備は完了。翌日の集合には、山形県の団体が他所を圧倒する勢いで研修のプログラムに参加出来るのは大変心強く、歴代研修委員長に感謝です。

二つ目は研修施設です。普段のモーニングセミナーと違い、手付かずの森林地帯、豊かな自然に囲まれている施設は、富士山の麓という大自然のエネルギーが満ち溢れている場所に身を置くことによって、日常生活とは違い静かに自分を客観視できます。起床から就寝まで合部屋の縁で行動を共にするグループで「なれあいでない優しさ責め心のない厳しさ」を合言葉に修了証を頂いた感激は格別なものでした。学習がここで終わるのではなくセミナーでの学びを日常生活に生かして半年継続。只今実践中ということで報告と致します。

バス移動は「内観」の時間となり、
帰りのアンケートでは研修直後の熱い想いが
たくさん寄せられました。

倫理の教えは、全てに繋が
り、自らの実践によって開
かれること。まごころ実践
20は、納得のいく内容で
理解しやすかった。感謝の
気持ちを持って人と接して
いきます。セミナーに参加
し、新たに気づけなかった
課題が見つかったため、そ
こを改善したく向き合っ
ていきます。
北村山奥山博貴



企業、組織の繁栄の根源は、
そのトップ及びリーダーの
人間力で決まるのが再認
識させられました。また、
学ぶと決めたらだまって従
うこと。理屈は無用。(だか
ら変な人に学ばない)これも
再認識させられました。
上山市 堺健一郎

非日常と日常のギャップ：
は、さて置き、1年に1度、
自分自身を振り返るにはい
い機会だと思います。むし
ろ、初めての方こそ、富士
研に来るべきです！必ずど
んな人でも感じる事がある
と思います。
米沢市 石川憲太郎

新たな発見がありました。「過去の価値」という言
葉です。自分には両親がおらず、親の愛には度も
ふれたことはありません。又、夫婦間の愛情を見た
こともありません。木村先生がおっしゃった「泣か
ない」「助けない」「歯をくいしばる」まさに自分の
生き方でした。でも過去は過去。時計の針を戻せる
訳ありません。ただ、自分の心持ち一つでその「過
去」が未来への創造につながる事が判りました。
天童市 岡崎俊弘



今回3回目ですが、やはり毎回汚れてい
るチェックはストレスでした。大声でミ
スを指摘されるのは60歳になるとなか
か無く、初心にかえることができました。
真剣に向き合うということ、妻への感謝
の気持ちを改めて手紙にしました。
上山市 奥村健一

以前、4年前とは内容が刷新し
てあり、受け入れる側も本気
を出さないと受けきれないこ
ろがあり大変良かった。自己を
観るという時間が多く取ってあ
り、深く自己を見つめる事が出
来た。食事・清掃・あいさつ、す
べてが厳しくて最高に張りつめ
た気持ちで徐々に漂った気が
流れて大変良かった。富士研に
来て良かったと本音で思えた。
酒田市 佐藤英夫

久しぶりの富士研でした
が、全くの倫理生活体験
で大変良かった。岩見チー
ムリーダー指揮も良く、
まとまりよく楽しい充実
した3日間でした。
酒田市 佐藤茂

来る度に違う気づきを得
られます。ただ気づくだけ
で終わってしまい、実践でき
ていないのが課題です。来
年は報告ができるようにし
ていきたいです。
鶴岡市 伊藤勝生

先手先手で動き、即行するこ
とで、全てにおいて実践につな
がる事を実感しました。これを忘
れない様にしていきたいです。
庄内中央 I・Y

3年ぶりの研修でしたが、今回は大切な
ものを思い出させてくれた研修となりま
した。大事なものを10あげ、それに優先
順位をつけてみてはつきりしました。又、
同室の方達のお話を聞き、色々な人生が
あるのだと思いました。夫を愛せない妻
が多いのには驚きました。何とか夫を愛
えたいと思つて参加したけど自分が変わ
らなくてはとの気づき、子供に期待して
いる母の祈りはもしかして呪い？改めて
色々な決意をした3日間でした。そして、
恩の遡源の研修を通して、父のシベリア
抑留の地を調べてみようと思つています。
山形市中央 今田早百合

大切な事を思い直すことが
出来た。みそぎが良かった
です。今後も自宅で続けて
行きます。
鶴岡市 阿部英明

清掃を通して「末を乱さず」とい
う自分にとって最も苦手な部分を
学びました。班の方には大変恵ま
れ、リーダーまででなく全員が
積極的な動きが出来、感謝感謝
でした。家庭、会社では、この学
びが無駄にならない様、実践をし
て体験発表できるよう努めます。
天童市 加賀善子



今まで気が付けない事に気が付
く事が出来た。愛和のみそぎで
は幸せになってほしい人を願ひ満
に入る、いつもは妻の事を想って
入るが、今回は子供達の顔が浮
かんで涙が流れた。妻を一番大切
にと考えていたが、行動は子供達
が最優先で妻に淋しい思いをさ
せていたのではないかと気が付い
た。妻ファーストで実践していく。
鶴岡市 小林秀樹

挨拶、返事、後始末の、後始末
がこんなに深く難しく自分
自身が簡単に考えて指示し
ていたと思うとはずかしくな
りました。今回セミナーに参
加し、今までのマンネリ化し
た実践に喝を入れられた感
じがありました。出来れば毎
年参加し、本当の実践を目指
したい。
酒田市 守屋利彦



今まで自分が「楽」していたのが垣間
見えました。「苦」をしなければ周り
の人物、自然に感謝できないのだな
と思ひました。「楽」ばかりしていると
自分の置かれている状況・立場が当た
り前だと思つてしまつ事が怠け心を生
まれさせることにつながっていくと私
なりに解釈しています。早起き、清掃、
団体行動、挨拶実習など、人間にとつ
ては嫌なことかもしれませんが、免疫
をつけておかないと、いざ困難に直面
した時に立ち向かえないのでは。
酒田市 中村完人



目的を持って参加したが、その課題
に取り組む中で新たな問題も見えて
きた。毎回新しい発見と学びが有り
ます。内容が大きく変わっているわ
けではないのに不思議です。
鶴岡市 栗本正幸

今回は通常コースの参加でしたが、
ある意味では落ち着いた受講ができ
た感じがあります。今回は特に妻の
ことをよく考える時間となりました。
妻のことを思いながら涙する時間を
とれたこと、これからの夫婦の人生に
とってかけがえのない機会になったの
かもしれないと思つています。
天童市 斎藤栄司

2回目の富士研で得た事は、受容とい
う心持ちが大切だと感じました。会社の中
での受容等、指導において工夫しながら
業務を考えたいと思ひました。又、参加
したいと思ひます。山形県から参加の皆
様、ご指導ありがとうございます。
庄内中央 阿部博

今回は5回目の参加で特別な新鮮さはなかったが、
挨拶テストに臨む姿勢として本気度が足りない指摘
を受けて反省した。チームリーダーから後始末が徹底
されていない不備な所を具体的に写真を見せてもら
い納得した。私は大丈夫という、他人事で受け止め
ていたのが間違ひのもと。自分の事として本気となつ
て後始末を徹底してやる大切さを学んだ。今回の研
修では本気でやることの大切さを改めて学んだ。
庄内中央 富樫幸吉

体全体を包み込んでくれる富士山の
麓で、あれだけ深く自分自身を見つ
めることが出来たのは、後の人生の
長い道のりにおいても本当に素晴ら
しい体験であったと確信します。
庄内中央 阿部敦

えがおのげんば



■ えがおの人
山形市中央倫理法人会
普及拡大委員長
土屋 浩 氏
昭和35年 長井市生まれ



■ えがおの現場
**株式会社
ハイテックシステム**

[代表取締役社長] 土屋 浩
[創業] 平成3年
[所在地] 本社/山形市松波1-16-7
東京支社/札幌営業所
[事業内容]
①サイバーセキュリティ事業
②クラウドサービス事業
③インフォメーション事業
④構築・保守事業
・ISO取得 (27001、9001、14001)

山形県倫理法人会「活力朝礼コンテスト」で、最優秀賞を受賞した実績のある(株)ハイテックシステム。社員一人ひとりのきびきびとした挨拶と、朝礼での「NO.1宣言」のパフォーマンスに「日本一元気なIT企業」を目指す意気込みを感じます。この会社をけん引し、山形市中央の普及拡大委員長としても手腕を発揮する土屋浩社長に話を伺いました。

倫理との出会い

山形市倫理法人会専任幹事をして
いる(株)エスパックの佐藤敬一さん
に誘っていただき、12年前に入会し
ました。以前から当社のクライアン
トとして佐藤さんにお世話になっ
ていたのですが、ある時、うちの社員さ
んが約束していた仕事をせすにご迷
惑をおかけしたことがあったんです。
だいぶ経ってからそのことを知った



私は、急いで謝りに行きました。その時、佐藤さんに渡されたのが「職場の教養」でした。読んでいくうちに、自然と涙が出てきました。それまで、私は「技術者集団を作ろう。技術があれば飯が食える」と思っていました。でも、社員が私に自分のミスを伝えられないような環境を作ってしまったていることを実感した時に「技術だけじゃない」ことを知りました。

佐藤さんに「職場の教養」はどこで売っているのかを尋ねたところ、「倫理法人会に入れればいい」と。そ

れが入会のきっかけですね。でも入会してみたものの、ただ「職場の教養」をもらうだけの会員でした。それから5年後、山形市中央倫理法人会が発足すると同時に移籍した私は、研修委員長という役職をお受けしました。言われるがまま引き受けたものの、最初のうちは活力朝礼の講習にも社員だけ参加させ、どちらかというと「勉強してこいよ」という程度の意識しかありませんでした。

普及ではなく、自分自身が学ぶ場という意識で

山形市中央倫理法人会設立3年目

でもやっぱり、社長が変わらないと会社は変わらないですね。「自分が率先して参加しなければ」と自覚するようになってから、朝礼も徐々に変わってきました。

に、自ら普及拡大委員長を志願しました。普及活動は大変なことも知っていましたし、正直やりたかったわけではありません。ただ、会員減少が顕著になっていた頃で、何とかしなければという思いがありました。当時、会長だった布施富将相談役とは「あの時は心が折れたね」と今だからこそ笑って話していますが、本当に大変でした。ほぼ100%飛び込みでもあります。名刺は増えても入会してくる人はいない状況が続き、やっと成果が出始めたのは3か月後でした。

成果を出せた理由は考え方を変えたから。ある時から、布施会長を塾長に我々が塾生となって「普及」ではなく、「継承(けいせい)塾」という名前を付け、「自分自身が学ぶ場」というスタンスに意識を変えていったのです。会社の雰囲気には「気」がある、掃除が行き届いている、チームワークが良いなど、ドアを開けた瞬間にわかってしまうもの。貼ってある標語一つで、その会社が目指す方向性も見えてきます。帰りの車の中では塾長にアドバイスをもらいながら、



朝礼のNO.1宣言「笑顔NO.1になります!」

訪問先の会社について意見交換。良いところは自分の会社に必ず取り入れるように心がけました。そして当

取材中の
ちょっとイイ話

(株)ハイテックシステムでは「ハイテック村」という畑を作っています。水やりは新入社員が担当。キュウリ、ナス、カボチャ、トマトなど収穫は全員で行って社員みんなで分け合うんだとか。デジタルな世界の中で垣間見たアナログな活動にほっこり。



年に一度「感謝祭」と題した夏の納涼パーティを開催しています。お客様、お取引様、社員の家族を招いて盛大なおもてなしに、感謝の気持ちが溢れていますね。



その後も継続して参加しているんだと思います。大事なのは、社員が活動の「目的」を理解しているかどうか。そうでないと「やらされ感」だけが残ってしまいます。朝礼もトイレ掃除も目的を達成するための手段です。「何のために？」という目的意識を全員で共有し、心のベク

山形市中央倫理法人会への思いを伺うと、「私自身、倫理に出会って良い方に変った実感があります。もともと沢山の経営者さんと共に学んで一緒に良い会社を目指したいですね」と最後に笑顔で答えてくれました。

先手の明るい挨拶、気づきを養う掃除、心一つにする朝礼、そして、周りのすべてのものへの感謝。これは、ハイテックシステムの基本です。当社では仕事力と人間力を向上させるため、「当たり前前委員会」「燃え

は参加したメンバー全員でとん汁やいも煮、お好み焼、手巻き寿司等と一緒に作って交流します。また、通常の朝礼では、感謝を伝える「ありがとうスピーチ」、元氣いっぱい「NO:1宣言」など、全員本気で取



る「燃え」の各プロジェクトを立ち上げて活動しています。その中でも、毎月第一土曜日に行う「社内木鶏会」は、社外の方々もお招きして、賑やかに開催しています。お昼は参加したメンバー全員でとん汁やいも煮、お好み焼、手巻き寿司等と一緒に作って交流します。また、通常の朝礼では、感謝を伝える「ありがとうスピーチ」、元氣いっぱい「NO:1宣言」など、全員本気で取

り組んでいます。私は、掃除は「体の準備体操」で、活力朝礼は「心の準備体操」だと思っています。



「朝活・倫理」では隔週火曜日開催。モーニングセミナーで学んだことを全員でシェアする時間を作っています。最初は受動的にモーニングセミナーに参加した社員さんも、壁にぶつかった時に講話で聞いたことを思い出したり、何らかの学びになっているからこそ、

トルを合わせていくため、経営方針、個別方針、語録等を入れた、当社のバイブルとも言えるフィロソフィ手帳(経営発展計画書)を常に携帯し皆で確認し合っています。



初115社だったところから、4年間で180社まで仲間を増やすことができました。

様々な場面で「苦難は幸福の門」の教えを実感することがありますが、いちばん苦しかったのはUターンしてきた頃ですね。大学卒業後は地元に戻ることもなく、そのまま東京で就職しようと思っていました。就職先も決まったある日、母親から一本の電話が入ったんです。「お父さんの会社が潰れそうだ」と。当時、父は



長井市で弱電関係の町工場を営んでいましたが、呼び戻されたときには人手不足に加え、経営的にも火の車でした。なんと、現場の責任者だった社員が他の社員を引き連れて他社の工場長になってしまったというのです。1日2000台分の部品を流れ作業で組み立てなくてはならないのに人がいない。新しく人を配置しようと思っても作業に慣れていないので時間がかかり、気づけば不良品の山。私も見よう見まねで作業を手伝うことになり、夜9時頃完成した部品を納品に行き、戻ってから不良品を朝4時頃まで手直し。そしてまた朝7時に出社の繰り返しで、そのハードな毎日にも限界を超えていました。でも、妻に手伝ってもらいながら、大学での学びを生かしコンピューターによる品質管理を導入するなどして、父の代の最盛期よりも利益を伸ばすまで会社を立て直すことができました。大学卒業して間もない自分にとっては大変な経験でしたが、あの時を乗り越えられたことが今の私の力になっていると感じています。

30歳まで起業、
親友との約束

自ら起業したのは30歳の時。大学時代、公認会計士を目指していた親友と「30歳までに会社を作って、お前の最初のお客さんになるから」と、具体的な計画もないままに約束してしまったことが「起業」するきっかけ

当社の基本は挨拶・掃除・朝礼・感謝。創業当初は台風が来ると屋根が飛ぶようなプレハブの小さな事務所でしたが、平成12年には本社を山形に移転し、現在ではサイバーセキュリティ事業、クラウド事業、などを手がける事業内容へと変化して参りました。



自社製品 / ←電子マネーチャージ機とデジタルサイネージ
↑デジタルサイネージ (パスタ新宿)

モーニングセミナー以外にも会員同士の交流の場がたくさんあります。各単会ごとの地域に根ざす活動や、倫理実践の気づきをご紹介します。

山形市中央
倫理法人会
活動報告

活力朝礼の実演

広報委員長 金子仁

4月18日に開催されました倫理経営講演会の中で活力朝礼の実演を行いました。他の単会でも倫理経営演説で朝礼の実演を行います。当単会ではちょっと珍しい二部構成の実演でした。

一部では8名で行うスタンダードな形式なもので、二部では少人数での朝礼です。実演メンバーは役員中心や1つの会社からではなく、会員企業の若手社員さんを中心に朝礼委員長が選ばれました。

選抜メンバーというだけあって初めは残念ながらいかにパラパラのスタートでしたがそこから成長、本番での実演、言葉では表現できないくらいの感動をいただきました。

また、朝礼の内容もオリジナルな要素もあり山形市中央倫理法人会の魅力が凝縮された最高の朝礼だったと思います。メンバーの皆様はじめ菊池朝礼委員長、ハイテックシステム朝礼道場の皆様、役員の皆様、そして御来場下さいました皆様、心から感謝申し上げます。



河江市
倫理法人会
気づきの報告

倫理実践の報告・ 倫理を学んで思うこと

広報副委員長 鈴木仁



朝5時50分会場へ入ると、おはようございます！と役員の方々の大きな声でのあいさつ。自分は大した驚いて、負けずに大きな声で挨拶しました。こんな感じで私の倫理を学ぶ朝のスタートでした。倫理を学ぶ：私は何をすれば：戸惑いながらも日々参加して、素晴らしい方々の講話を聴き、また体験談なども話していただき自分の心の狭さ、そして心の弱さを実感しました。

その後、私は何事にも感謝する心をもつようになりました。仕事で使う道具、車、トイレ、浴室、などももちろん私の周りにいる人々、ありがたうと素直に言えるようになるうーと心がけました。

会社でも怒らず部下を褒めることを多くしていこう。短気をおさず、怒りたくなったら一度深呼吸。出社する前に洗面所の鏡をみてニコリ笑顔を。トイレは、ほぼ毎日掃除。いつも悪運(悪うん)をながしてくれて有難うと感謝しながら。

夫婦は1対1の反射鏡より、今までの自分のことを棚に上げて妻のためなところばかり見て、そして文句も言っている：自分は沢山反省して、妻に感謝の心をもち沢山会話をし、楽しい話をするようにしました。でも、私はいびきものすぐくうるさいため、寝るときだけ夫婦別居です(笑)

実践して感じているのは、心が浄化されて何事にもプラス思考で前向きにいけるように、いつも笑顔で明るい自分で見られるようになってきたように思います。皆様に感謝です。家に帰るとすぐ御先祖様に今日も事故故げもなく仕事できました。と手を合わせ感謝しています。

自分の体験したことなど通して、会社に活かして活気ある伸び行く会社、伸び行く社員を育てられるようにしていきたいと思っております。

長井市
倫理法人会
会員紹介

新入会員の紹介

専任幹事 増田源幸



今回は、4月11日に入会式を済ませたばかりの会員をご紹介します。当単会には小国町の会員もおります。距離的にもモーニングセミナーに出席するのは大変なため、年に数回小国町を会場に懇談、懇親の場を設けております。今年も2月28日に少し遅い新年会を開催いたしました。その席でお話しいただいた農事組合法人小国さんだけ工房の皆さんの熱意に感じ、是非モーニングセミナーでも話を聞きたいとの声が強くて今回のセミナーでその設立の目的や今日までの経過をお話しいただきました。全国で数名しかいない特別なこの栽培を確立している方が2名もいらつしやるなどその技術の高さや、地域活性の起爆剤となる活動などに改めて感動いたしました。一見すると不利とも思える地域的な条件などともせず頑張りつておられる皆さんが今回入会され、これから一緒に活動できることがとても楽しみにまりました。どんなことでも熱意を持って取り組めば必ず道は開けるのだと改めて感じた朝でした。

山形市
倫理法人会
会員紹介

「杵屋は、2000年」 「リップルパイは、50年」

副会長 菅野高志



昨年、発売50周年を迎えた「リップルパイ」のお菓子にまつわるエピソードを募集したところ、3ヶ月で80通を越え寄せられました。一例を紹介します。

「リップルパイといえば、一昨年13回忌を迎えた父が真っ先に思い浮かびます。私が20代半ば頃、結婚を決めた相手が遠方の出身という理由で最初はいい顔はしませんでした。しかし何とか説得をして結婚できました。結婚後は、沢山のリップルパイを毎年送ってくれていた父でした。私と私の家族を思う心を感じながら遠いところまで味わうリップルパイ。本当に美味しくって、嬉しくて涙が流れてくる時もありました。お父さん、本当にありがたうございました。そんな私も来年で50才です。」

感謝です。菓子屋冥利に尽きます！創業文化八年(1881年)私は、10代目であります。



大正8年 宮内本店

南陽市
倫理法人会
ご冥福

鹿又副会長の ご冥福を

会長 飯塚一博



この度、当単会の鹿又副会長が他界いたしました。余りにも急だったので、ショックが大きいです。鹿又氏は、当単会の設立からの会員で、会発展に絶大のご尽力を抱き、これからの会発展に益々お力を発揮していただかなかければと言う矢先でした。私にとっての鹿又氏は、青年会議所時代の出会いから四十数年の御付き合いですが、その間様々な相談ごと、アドバイスを頂き、よく話されていた言葉は、「我々は、いかに価値ある人生を生きていくことが大事なのだ」と。私は、今になってこの言葉が理解できます。これからの価値ある生き方を教えてもらいたかったし、勉強をしたかった。しかし今ではそれも叶いません。もう一つの鹿又氏は、寂しがり屋であり、照れ屋でもあります。モーニングセミナーのご自分の講師の時は、必ず後から電話がかかってきて今日の話はどうだったかと心配されておりました。今後は彼が築いてきた南陽市倫理法人会を継承し、価値ある倫理法人会発展にしていきたいと思っております。鹿又副会長さようなら、ご冥福をお祈りいたします。



の良い会員の皆様と共に、庄内中央倫理法人会を盛り上げ共に学んでいけたらと思います。

庄内中央倫理法人会 イベント報告

4月交流会の開催

研修副委員長 和島公太

4月27日、屋形船で春のお弁当と日本酒を楽しむ会を酒田の地において開催しました。当日は天候にも恵まれ、上りは桜の花びらなど景色が良く見えたのですが、下りは日も暮れてしまい窓に映る景色は会員の顔でした。新入会員及び、朝なかなか参加できない会員の方も多数参加していただき、新入会員の自己紹介も交えながら大盛り上がりの中開催することが出来、二次会場でも思い出話に花が咲き、交流会開催中常にお花見をしている気分が酔いしれることが出来ました。今後

山形市霞城倫理法人会 イベント報告

第二回会員交流会

広報委員長 大宮幸男



去る2月20日、山形グランドホテルに於いて第二回目の会員交流会が開催されました。当日は県四役会も同ホテルにて行われており、安藤会長を始め県役員の皆様からのご出

席も賜り、新会員様を含めて24社25名様のご参加を頂きました。話には聞いておりましたが、なかなかの酒豪ぞろいとおつて、アルコールは見る見る空ビンへと。日頃なかなか話の出来ない会員様や県四役の皆様方と、楽しく笑いの絶えないそして有意義な時間を過ごさせて頂きました。



1月17日に満一才を迎えた私達山形市霞城倫理法人会に、会員の皆様方を始め今後ともご指導とご協力を賜ります様宜しくお願い致します。



北村山倫理法人会 MS報告

おんせん de ヨガ

北村山相談役 早坂幸起



北村山倫理法人会では、今年度から月一回、モーニングセミナー開催後に「おんせん de ヨガ」と称してヨガ講座をおこなっております。講師は会員でもあるヨガインストラクターのゆうきさおりさん(倫理法人会ではクラゲヨガのさおりさんでも有名です)。モーニングセミナーとヨガの組合せで心と身体をリフレッシュし、希望者はその後美肌の湯で温泉効果も抜群です。「ヨガ」と聞きますと男性の皆さんには敷居が高いようにも感じますが、おじさん達が楽しそうに悪戦苦闘しておりますので心配なく。当日の申込でも大丈夫です。他単会の皆さんの参加も大歓迎です。



朝に体を動かすことで一日がより充実したものになります。ゆったりとした気分できると身体を和らげ、気持ちのいい一日を始めましょう！

米沢市倫理法人会 イベント報告

米沢市倫理講演会 「大転換の時代」

副会長 中村恵一



4月18日グランドホクヨウにおいて19回目となる、米沢市倫理法人会倫理経営講演会を開催いたしました。講師は新生運輸(株)代表取締役の信太秀紀氏と倫理研究所法人局参事法人アドバイザーの大熊富夫氏のお二人です。お二人とも企業の経営者であり幾多の苦難を乗り越えられた方なので、体験談は迫力があり倫理をベースとしながらも、独特の感性をお持ちであり、必死にメモを取りました。すると万人幸福の彗に無共通のお話があることに気が付きました。それは、

信太氏は、「人は事実でなく言葉に反応する。本当の事は関係ない。」大熊氏は「言葉を信じるな。行動を信じる。」です。言葉には力があり、落とし穴もあるので要注意ということでしょうか。

講演終了後に初めての参加者から「来てとても良かった。」との声が多く有意義な講演会になったことをご報告いたします。

酒田市倫理法人会 気づきの報告

富士研三十年 二月二班

青年副委員長 中村完人



富士研の研修が終わる時に同じ班だった皆さんとラインでグループを組んだ時の名称です。初対面での団体生活三泊四日の中で学んだ掃除、ミーティング、命の講座、自照清坐、合わない挨拶が合った時の達成感等、かけがえない時間を過ごす事ができました。メンバーの皆さんには感謝です。全国の倫理の強者揃いで磨かれました。今でもラインで時々メッセージ出しています。スタッフの皆さんからは倫理ならではの責め心のない厳しさがものすごく伝わってきました。自分にはできません。自分にお土産を買ってきた「倫理経営のすすめ」の本を読んでいます。全部実践するのは難しいですが、一つ一つ時間をかけてやっていこうと思います。共に癌で亡くした両親には、あるまじき言葉を言ってしまった自分自身の後悔の念が絶えません。



会場の準備ご協力をいただいた実行委員長、メトロ口さん、研修委員会メンバーの皆様ありがとうございました。

今後、会員同士の親睦を深めることで、山形市倫理法人会の更なる活性化に繋がることが期待したいと思えます。

4月9日(月)にメトロポリタン山形様を会場に、山形市倫理法人会お花見会を開催いたしました。約50名の方々に参加頂きました。ウエルカムドリンクで既に赤ら顔の実行委員長岩井副会長の挨拶から始まりました。

前半は、歌手の夏川陽子さんのミニコンサートで盛り上がりました。その後は、メトロ口さんのおいしい料理と、夏川さんの地元である群馬の地酒をいただきながら会員さん同士の交流、親睦を深めることができました。

そしてもうひとつの企画、ブレゼント抽選会は夏川さんのCD争奪戦が繰り広げられました。ゲットした方おめでとうございました。



山形市
倫理法人会
イベント報告

会員交流 お花見会

広報委員長 国島潤一

鶴岡市
倫理法人会
気づきの報告

倫理との出会いから今日まで

副会長 小池昌和



平成20年、当時私は鶴岡青年会議所で「第18回赤川花火大会」の委員長でした。その役職がご縁でモーニングセミナーの講師を頼まれ、倫理法人会を知りました。講話当時は、早朝からベルを鳴らして大声のあいさつ、会に対しての印象は「マジか?」でした。無事お役目を果たし平穏な?夜型の日々を過ごしていましたが、それから一年以上過ぎたある日、秋山鉄工の社長さん(当時鶴岡市倫理法人会会長)より、某施設の畳の見積り依頼が来しました。100畳以上ある大口案件に心躍らせて頑張った見積書を秋山さんに届けると「倫理法人会に一年間付き合ってもらえな

いか?」という勧誘をいただきました。その時入会申込書と退会届けと一緒にいただき、仕事もいいただきました。

これまでの役歴は、入会間もなく広報副委員長を拝命、翌年広報委員長。その時は広報取材と称して富士研に参加、山形の大御所多数のバスに揺られ、研修所では貴重な体験をさせてもらいました。普及拡大委員長としての3年間は、思い通りならずほど活躍もできず、結果が出せないで終わり不完全燃焼。専任幹事としての2年間もなんとなく終わってしまいました。

そして副会長になり、今までを振り返ってみると、倫理運動に対する理解や実践力が伴わず役職だけが上がってきて、「このままで大丈夫なのか?倫理学んでいますと胸を張って言えるのか俺?」と自問自答している毎日です。

しかし、ここまでの道のりは不思議な倫理体験の連続で、やはり倫理学んでいるから理解できる、腑におちる事が沢山あり人生が楽しくて充実しています。



コミュニケーションカード

朝礼
委員会

「コミュニケーションカアップ
倫理朝礼塾」開催なる!

県朝礼委員長 前盛直人



去る5月12日(土)、県合同事務局を会場にして毎年恒例となっております「倫理朝礼塾」を開催いたしました。会員企業11社25名の若手・中堅社員の皆様より参加いただきました。

企業朝礼をテーマとしたグループディスカッションやコミュニケーション分析ツールを利用して自身の顕在的・潜在的「コミュニケーション力の傾向を知り、それをもとに互いが自己紹介を行うこと」によって参加者同士が緊密になり非常に盛り上がった研修会となりました。

また、朝礼の土台となる基本動作や姿勢についても「何故日本人はお辞儀をするのか?」「何故欧米人は握手をするのか?」それらに加え「国際基準で決まっているノックの回数は何回か?」「朝礼を活用して自己成長に繋げていく方法」など座学と実践を交え、ビジネススマナを含めて基本動作の大切さを改めて学んでいただきました。参加された皆さんの表情が見るうちに豊かになっていったことが印象的でした。そして、何よりも企業朝礼の重要さや「コミュニケーション力の傾向を正確に知る」ことにより「自身の可能性が無限大にあることを参加者ご自身が気づき改めて認識いただいたことが最大の成果であったものと思えます。

一番大切なことは、この研修会で学んだことや気づきを職場や家庭で継続的に実践していく事です。参加されました皆様の今後のご活躍をご期待申し上げ、倫理朝礼塾開催のご報告とさせていただきます。

山形市蔵王
倫理法人会
イベント報告

平成30年度
倫理経営講演会

広報副委員長 菅信隆



今年度も3月9日に、11社29名の多くのご来場者を迎えて、山形ビッグウイングで倫理経営講演会が開催されました。今回は「大転換の時代 一つねに活路あり」をテーマに活力朝礼の実演と一般社団法人倫理研究所法人局参事の河野武彦氏の講演を行いました。

朝礼実演は、会員企業から選抜された8名の出演者によるテンポ・タイミングを意識した「活力」溢れる所作に大きな拍手が沸き起こりました。



講演は、「純粋倫理と倫理経営」に始まり、テーマに基づく11の言葉を創業者として一からスタートした経験に基づきわかり易く話され、とりわけ河野参事が熱く語る「出来るまで止めない」は多くのご来場者の共感を呼び、改めて倫理法人会で学ぶ意義を確認する場となりました。